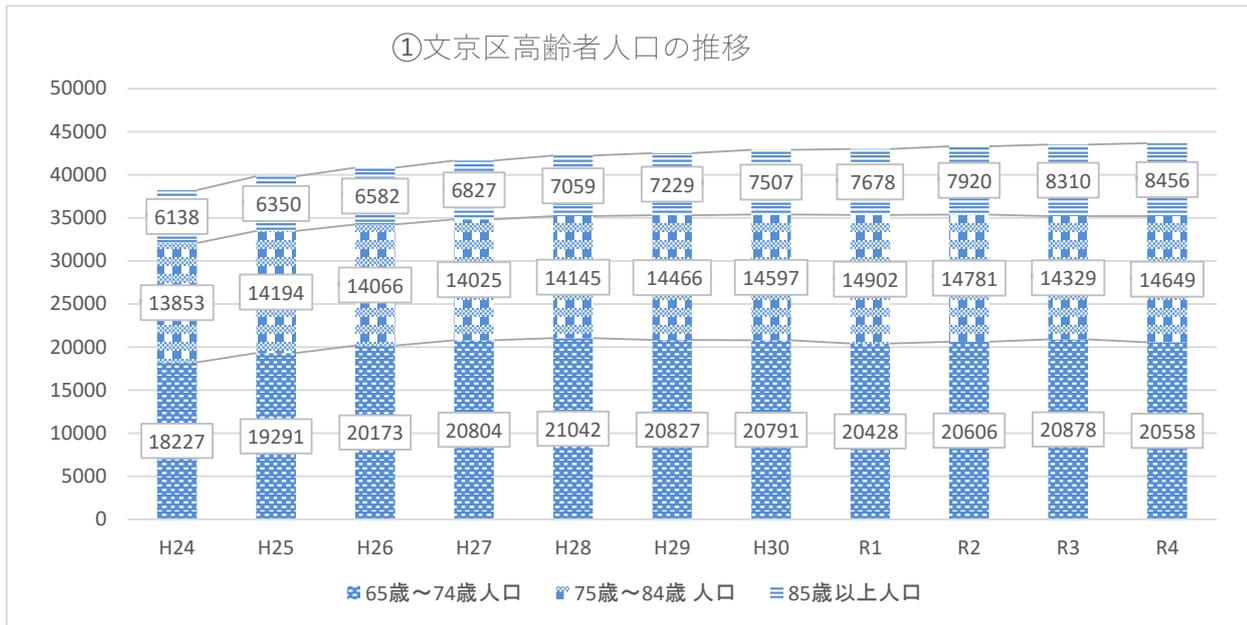


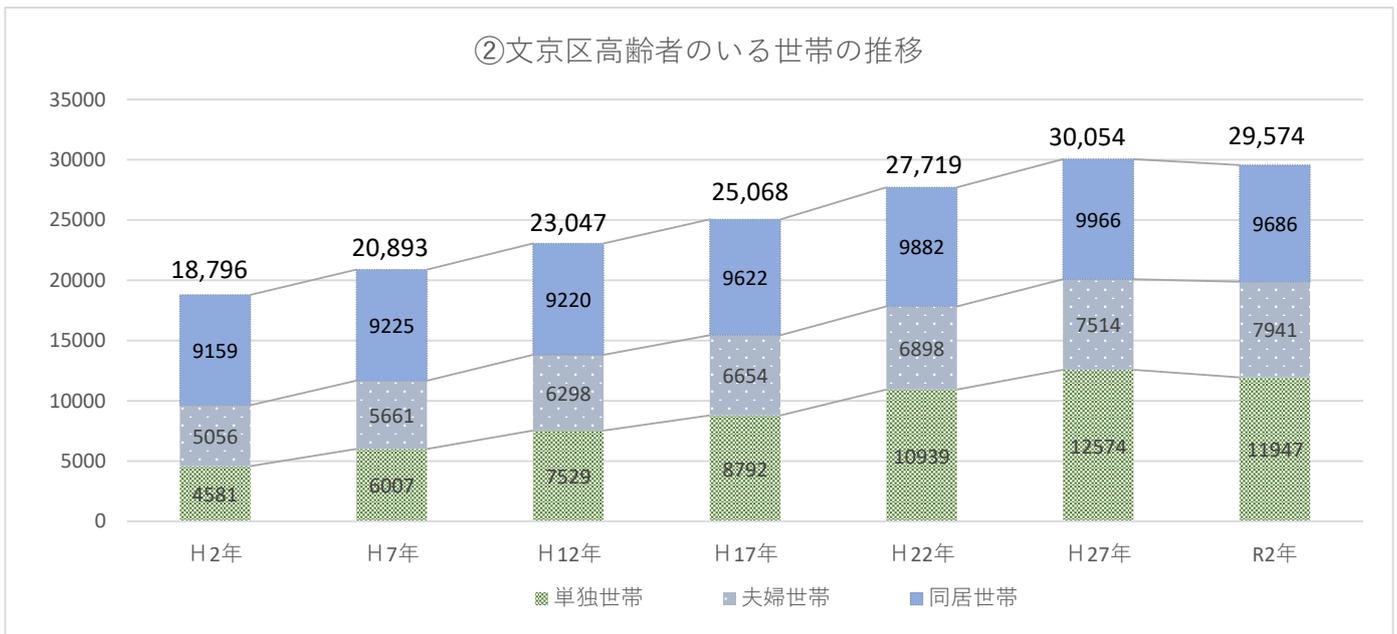
令和4年度

認知症施策総合推進事業実績報告



文京区人口統計資料年齢別（各歳）別及び男女別人口（住民基本台帳）に基づく各年4月1日現在の実績値

★文京区高齢者・介護保険事業計画（令和2年～令和5年度）の推計では、令和7年（2025年）前期高齢者19,703人・後期高齢者25,258人、令和27年（2045年）前期高齢者35,774人・後期高齢者34,753人となっている。



高齢者介護保険事業計画（令和3年度～令和5年度）、令和2年度国勢調査より

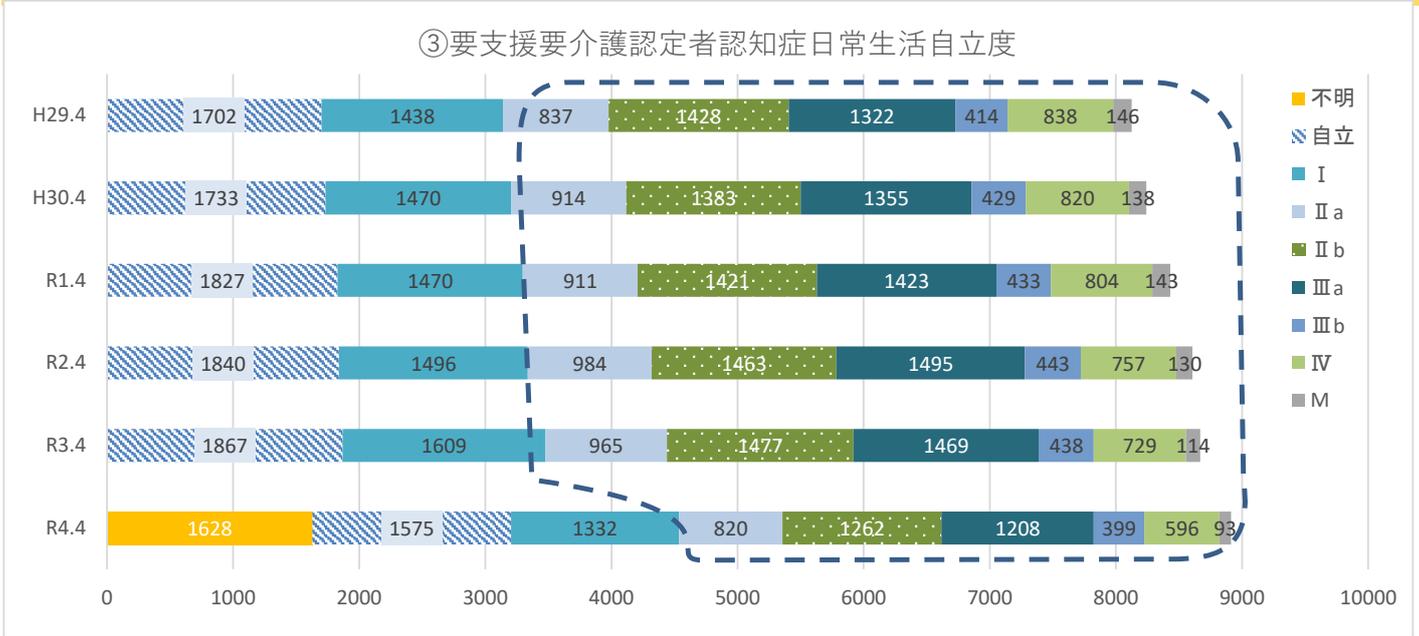
★ 高齢者夫婦のみ世帯は増加傾向

★介護保険要支援・要介護認定者における独居世帯の認知症日常生活自立度Ⅱ以上の人数

令和元年9月1日時点：2,384人 令和4年11月1日時点：2,505人

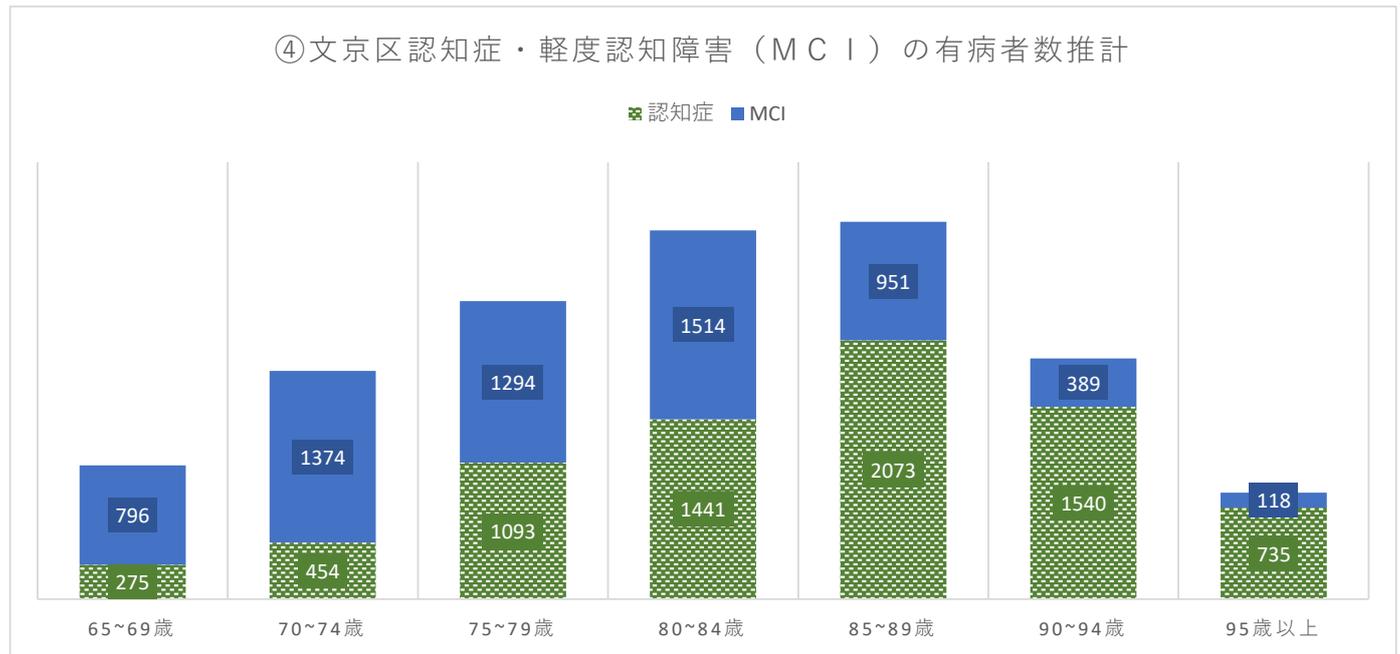
※令和2～3年は新型コロナウイルス感染症による介護保険更新の随時的延長により、正確な数値が出せなかった。

文京区の現状



文京区高齢者・介護保険事業計画（令和3年から令和5年）より

◆介護認定を受けている方の内R4年日常生活自立度Ⅱ以上は、4,378人（60.1％）となっている。
 ※R4年は新型コロナウイルス感染症により、意見書なしで介護保険の随時的期間延長が行われている為、1628件については内訳不明。



「都市部における認知症有病率と認知症の生活機能障害への対応」H23年度～H24年度総合研究報告書（研究代表者 朝田隆氏）資料を参考にR4年4月1日現在の人口を基準として算出

◆ 65歳以上推計（R4.4.1現在の人口で算出）では、認知症：7,611人 MCI：6,436人となっている。

文京区認知症ケアパス作成における理念及び方針

認知症になっても人として尊重され、希望を持って自分らしく生きることができる文京区

- 誰もが認知症の正しい知識を持ち、どのような支援が受けられるか知っている文京区
- 適切なタイミングで適切な支援につながり、切れ目なく支援が提供される文京区
- 認知症であってもそうでなくても、「お互いさま」と当たり前を支えあう文京区
- 認知症の本人を支える家族の生活と人生に、充分配慮された支援のある文京区

普及・啓発の推進

※R4は4～9月の実績

◇ 認知症講演会

	H29	H30	R1	R2	R3	R4
開催回数	8回	5回	3回	4回	5回	2回
参加者数	178	153	283	11	112	24
平均参加者数	22.3	30.6	94.3	2.7	22.4	12

◇パンフレット等



◇ 認PAKU~認知症に寄り添う機器展~

	H29	H30	R1	R2	R3	R4
参加者数	380	493	569	173	236	393



◇ 認知症サポーター養成講座

	H29	H30	R1	R2	R3	R4
開催回数	54回	42回	43回	19回	18回	13回
○ 区民	318	455	224	73	161	168
受 講 者 数						
学校	785	360	500	505	311	38
企業	542	499	554	44	175	45
合計	1,645	1,314	1,278	622	647	251

R3年度から



◇ 認知症サポーターステップアップ講座

	H29	H30	R1	R2	R3	R4
受講者数	43	53	28	21	26	23



R4年度の認知症サポーターステップアップ講座について

認知症サポーターの役割を再確認し、サポーターとして地域に根差した活躍ができるようプログラム内容を改訂した。8月の第1回目講座受講者の中からボランティアを集い、10月～12月までの認知症関連事業で延べ17人の方にご活躍いただいた。



◇認知症支援コーディネーターについて

認知症の本人と家族が地域で安心して生活できるよう、区市町村に認知症の医療・介護・生活支援等の情報に精通した地域における認知症の専門家である認知症支援コーディネーターを高年齢者あんしん相談センターに配置し、個別ケース支援のバックアップ等を担い、認知症の疑いのある人の早期発見・診断・対応を進めることにより、地域の認知症対応力の向上を図ることを目的とする。

東京都認知症支援コーディネーター事業包括補助事業概要より

◇認知症相談機能強化

～H26年度から認知症支援コーディネーターを配置し個別支援や認知症施策を推進～

	H29	H30	R1	R2	R3	R4
認知症支援CO対応件数（延）	738	856	816	703	729	387
認知症相談件数（延）	3,873	3,316	4,065	4,397	3,808	2,271

◇もの忘れ医療相談

～H26年7月より認知症サポート医を区の嘱託医として高齢者あんしん相談センターに配置～

	H29	H30	R1	R2	R3	R4
来所相談件数	43	28	22	24	28	12
訪問相談（再掲）件数	12	2	5	3	5	2

※不在含む

▼もの忘れ医療相談結果 ※重複あり

	H29	H30	R1	R2	R3	R4
助言	14	20	11	14	12	6
要医療	19	6	8	6	13	4
方針確認	8	2	2	0	2	2
介護保険	2	0	0	1	0	0
その他	2	0	1	3	1	0

▼もの忘れ医療相談”要医療”と判断された方のその後の状況

	H29	H30	R1	R2	R3	R4
受診他	12	4	4	1	7	3
状況	・嘱託医、他の専門医、介護保険申請など					
未受診	7	2	4	5	6	1
状況	・支援拒否のため、介入の時期を検討 ・初期集中支援事業へ移行 ・包括や関係機関での見守り支援					

◇ 認知症初期集中支援推進事業～H29年10月より多職種連携による認知症支援の開始～

【事業概要】

認知症サポート医・専門医・認知症支援コーディネーター（看護師）・社会福祉士・認知症地域支援推進員（区職員）による多職種連携により、認知症のご本人及び家族に対して、医療や社会資源サービス調整等の支援を行う。

年次	事業対象者数			
	R1	R2	R3	R4
文京区	11	7	6	0
全国平均	12.4			

支援の 実際	開始時					
	初動日数	長谷川式平均	ザリト平均	ダスク平均	IIa以上	認知症診たて有
R1	24.7	15	16.4	45.8	10	11
R2	15.3	14.3	12.3	40.7	4	7
R3	25.2	25	12.4	54.7	6	6
全国平均	17.2	ケアマネジャーの関わりのある事例が多いため、初動日数が延びた。				※疑い含む

支援の 実際	終了時					
	平均支援期間	ザリト平均	↓年度内			
支援終了			医療	介護	その他	
R1	206.9	14.0	10	0	2	8
R2	176.2	8.7	13	2	4	11
R3	181.4	10.0	4	0	3	1
R4	209.5	11.0	4	1	1	2
全国平均	137.9					

※ザリト(Zarit):介護によってもたらされる身体的負担・心理的負担・経済的困難などを統括し、介護負担として測定する指標である。点数が増加するほど、介護負担感が大きいとされる。

※長谷川式簡易認知機能評価スケール：認知症の可能性のある高齢者をスクリーニングするために作成された高齢者用の質問式の知能評価指標である。30点満点で20点以下は認知症の疑いが高まるとされる。

※ダスク：認知機能低下の状態と生活課題の評価を21の質問項目で構成し、リストアップしたものである。合計点を用いる場合、29点以上で認知症の可能性ありと判定する。

◇ 認知症検診事業

【事業概要】

目的：認知症に関する普及啓発、本人による認知症の早期の気づきの支援

内容：55・60・65・70・75歳を迎える区民を対象に、認知機能チェックや認知症の普及啓発パンフレットを個別に送付する。希望制（先着・定員あり）で、指定会場での検診を実施。タブレット端末「のうKNOW」を活用して、脳の健康度測定を実施し、結果について医師からの助言を受ける他、必要に応じて医療機関や診断後支援事業に繋げていく。また、検診会場では、必要に応じた個別の健康相談、管理栄養士や歯科衛生士等による認知機能と生活習慣の関係についてのミニ講座を開催している。令和3年度より開始。

【検診対象者】

内訳	55歳	60歳	65歳	70歳	75歳	合計
R3	3,071	2,248	1,975	2,427	1,646	11,367
R4	3,362	2,547	1,994	1,892	2,497	12,292

【申込者】

内訳	55歳	60歳	65歳	70歳	75歳	合計
R3	153	135	96	97	116	597
R4	154	111	92	111	143	611

(R4)女性53.4% 男性46.6%

【受診者】

内訳	55歳	60歳	65歳	70歳	75歳	合計
R3	111	95	70	79	87	442
R4	97	70	66	87	110	430

(R4)女性53.0% 男性47.0%

【当日実績】

	医療機関連絡書発行	個別相談				ミニ講座		
		地域包括	歯科	栄養	運動	歯科	栄養	運動
R3	59	117	10	9	37	129	126	125
R4	43	109	7	31	34	111	92	124

◇ 認知症ともにパートナー事業

【事業概要】

認知症の症状が進行し、深刻化後に事例化する事から、認知症の早期の段階で支援につながる仕組みを整備した。医療機関で認知機能低下の判断を受けてから診断後の支援まで、ご本人や家族に寄り添った伴走型の包括的なサポートを実施する。R2年9月より事業開始。

【事業実施機関】

区内訪問看護ステーション 16カ所

【協力医療機関】

区内医療機関 56カ所 ※R4年9月現在

	R2	R3	R4
新規利用者数	9	12	8
年間利用者数	9	21	11
その他(対象外含む)	1	1	0

- 事務局及び受託訪問看護ステーションとの定期連絡会の開催
 - 勉強会・事例検討会の開催
 - ともにパートナー通信の発行
- ≪内容≫実績報告、支援事例の紹介など

◇ 認知症とともにフォローアッププログラム事業

【事業概要】

認知症の有無に関わらず、日々の生活習慣の大切さや生活習慣病をコントロールする事の大切さ等、総合的な健康管理と個人の状況に応じたスモールステップな行動変容を促す複合的なプログラムを実施。

全3回制	R2年度			R3年度			R4年度		
	第1回	第2回	第3回	第1回	第2回	第3回	第1回	第2回	第3回
対象者	一般区民			検診受診者	検診受診者 一般区民	検診受診者	検診受診者		
来場参加者	38	中止	24	20	36	12	45	45	46
自宅参加者	6	43	24						

≪プログラム内容≫

● 全3回制

- ・ 医師、管理栄養士、歯科衛生士、健康運動指導士による生活習慣改善に係る講話
- ・ デジタルツール「のうKNOW」による脳の健康度測定、脳のエクササイズ「シナプロソロジー®」体験を実施。

※R2年度自宅参加者の第2回及び第3回は、追加募集参加者を含む。

地域での日常生活支援の充実・家族支援の強化

※R4は4～9月の実績

◇ 認知症カフェ『ぶんにご』文京区認知症コミュニティ

◇ 認知症家族交流会

	H29	H30	R1	R2	R3	R4
開催回数	27	25	26	7	22	8
参加者数	558	409	315	64	222	91
平均参加者数	20.7	16.4	12.1	9.1	10.1	11.3

	H29	H30	R1	R2	R3	R4
開催回数	8	8	7	5	8	3
参加者数	64	58	98	49	68	38
平均参加者数	8	7.3	14	9.8	8.5	12.7

◇ 認知症家族介護者教室

◇ 認知症カフェ・家族交流会・介護者教室

	H29	H30	R1	R2	R3	R4
開催回数	8	8	8	3	8	4
参加者数	133	186	203	32	113	79
平均参加者数	16.6	23.3	25.4	10.6	14.1	19.8

新型コロナウイルス感染拡大の状況を注視しながら、開催規模及び内容の調整を行いながら開催している。

行方不明認知症高齢者ゼロ推進事業

※R4は4～9月の実績

◇ 靴用ステッカー及び衣類用アイロンシール配付状況

配付数	H30	R1	R2	R3	R4
靴ステッカー	36	38	48	37	9
アイロンシール	34	31	47	38	9

◇ 生活環境維持事業

	H30	R1	R2	R3	R4
利用者数	0	1	0	0	0

(人)

◇ SOSメール事前登録事業及びSOSメール配信

	H30	R1	R2	R3	R4
事前登録者数	73	89	119	136	142
メール協力者数	640	699	745	808	832
メール配信回数	3	5	3	5	1
協力者による発見数	0	0	0	0	0

◇ うちに帰ろう模擬訓練

	H30	R1	R2	R3	R4
参加者数	43	56	中止	37	26
R4年11月26日開催し、参加者26人。 内、認知症サポーター2人のボランティア協力あり。					

◇ GPS探索サービス

	H30	R1	R2	R3	R4
助成者数（持ち運び）	1	0	2	2	3
助成者数（靴収納）			4	4	0
年度末現在の利用者数	6	2	6	6	7

◇ 高齢者等おでかけ見守りシール事業

【事業概要】 R3年7月事業開始 R4年9月末現在、登録者は15人。

認知症の症状による行方不明時の早期保護に役立つツール。衣服や持ち物に貼った2次元コードを発見者が読み取ると、ご家族等へ通知メールが届く。発見者と家族が伝言板を通じて発見時の状況等の簡単なやり取りができる。